

芝浦工業大学附属中学高等学校へ403号機関車の寄贈が決定

新豊洲校地にて2022年11月より一般公開

* * *

学校法人芝浦工業大学（東京都港区/理事長 鈴見健夫）は西武鉄道株式会社（埼玉県所沢市/代表取締役社長 喜多村樹美男）より、芝浦工業大学附属中学高等学校100周年記念事業の一環として、元鉄道院403号機関車の寄贈を受けることが決定しました。2022年11月より新豊洲校地にて一般公開します。

2022年に100周年を迎える芝浦工業大学附属中学高等学校は、鉄道省（鉄道院の後身、のちの日本国有鉄道、現JR各社の前身）の日本鉄道開業50周年記念事業の一つとして1922（大正11）年、東京市麹町区に「東京鐵道中学」を前身として開校されました。この縁をもとに、鉄道院時代に403号機として走行し、のちに川越鉄道（現西武鉄道）にて4号機関車として活躍後、保管されていた当蒸気機関車の寄贈を受けます。

ポイント

- 元鉄道院403号機関車を2022年11月より新豊洲校地にて一般公開
- 芝浦工業大学附属中学高等学校100周年記念事業



▲公開展示予想図（芝浦工業大学附属中学高等学校 校地）

元鉄道院 403 号機関車概要

403 号機関車含めこの形式の機関車は日本鉄道創業時代に輸入され、20 世紀初頭にこれを模した国産機が製造されました。イギリスから輸入された 403 号機関車は、日本工業の黎明期を伝える貴重な産業資産です。

形式	タンク式
車輪配置	1 B1 型（先輪 1-動輪 2-従輪 1）
製造年	1886 年
製造所	ナスミスウィルソン（Nasmyth Wilson） イギリス製
機関車重量	約 27 t
機関車全長	約 9m



Shibaura Institute of Technology Junior and Senior High School

芝浦工業大学 附属中学高等学校

<http://www.ijh.shibaura-it.ac.jp/>

〈理工系教育〉〈大学連携教育〉〈言語教育〉〈探究教育〉を教育の根幹に据え、最先端の教育環境と独自の STEAM 教育で未来のグローバルエンジニア育成を目指す私立中高一貫校。生徒全員がタブレット PC を使用し、ICT を活用した教育を推進している。2021 年 4 月より中学校共学化。
(東京都江東区豊洲 6-2-7) 生徒数 中学校 494 人 高等学校 655 人 ※2022 年 4 月時点

取材に関する問い合わせ先

学校法人 芝浦工業大学 広報連携推進部企画広報課 柴田

TEL 03-6722-2900 FAX 03-6722-2901 E-mail koho@ow.shibaura-it.ac.jp

以上